

●忘れてないかあの診療 症例研究

●落としてないかその点数

6ヵ月以上の根貼と支台築造の算定

2014年4月改定で、6ヵ月以上の根貼に対するレセプトの摘要欄記載や支台築造(その他)の算定要件の変更などが行われた。変更点について整理を行う。

また、先に主訴である歯内療法の治療を行ってその後歯周治療を行う際の、パノラマ撮影および歯管算定についても解説を行う。

患者：45歳・男性

主訴：左上の歯が痛い

所見：5に自発痛あり。全顎的に歯肉発赤・腫脹、歯石沈着がみられる。

傷病名：5 Per 7/7 P

| 月日 | 部位 | 療法・処置 | 点数 |
|--|-----|--|---------|
| 9月7日 | 5 | 初診 | 234 |
| | | 5自発痛(++) 咬合痛(++) 圧痛(++). 全顎的に歯肉発赤・腫脹あり。 | / |
| | | X-Ray (D) 1F 根尖部に歯冠大の透過像を認める。注① | 48 |
| | | 除去(FMC) | 32 |
| | | 感根処(単根管) | 144 |
| | | ガッタバーチャ除去、貼薬(水酸化カルシウム) #30 | / |
| | | ファイルが根尖孔通過。患者に治りにくいことを説明。 | / |
| | | 先に主訴のPerの治療をし、その後歯周治療を行う。 | / |
| | | 歯管 管理計画を説明し、患者の同意を得る。 | 110 |
| | | 9月15日 | 5 |
| 自発痛(+) 圧痛(+). 注② | / | | |
| 根貼(水酸化カルシウム) | 26 | | |
| 水酸化カルシウム製剤を貼薬しながら、エック ス線撮影で病変の変化を観察することとする。 | / | | |
| P基検(別紙記載) | 200 | | |
| パノラマX-Ray(読影所見 略) 注③ | 317 | | |
| 歯周病を含めた管理計画を説明し、同意を得る。注④ | / | | |
| 7/7 | 7 | S C | 66+38×2 |
| | | P基処(H ₂ O ₂) | 10 |

| | | | |
|--------------|---|---|-------|
| 3月4日 | 5 | 再診 | 45 |
| | | 自発痛(-) 圧痛(やや+) | / |
| | | X-Ray (D) 1F 透過像はほぼ消失している。 | 38 |
| | | 根貼 注⑤ #80, 16.0mmを確認。VXを除去、クレオドンに変更。 | 26 |
| 3月11日 | 5 | 歯管 (管理内容 略) 注⑥ | 110 |
| | | 再診 | 45 |
| 3月18日 | 5 | 痛みは殆どないとのこと。自発痛(-) 圧痛(-)。 | / |
| | | ラバーダム 注⑦ | / |
| | | 根充(単根管) | 68 |
| | | C R F (単根管)(ガッタバーチャポイント) | 130 |
| | | X-Ray (D) 1F 気密な根充を確認。 | 38 |
| 3月18日 | 5 | 再診 | 45 |
| | | 痛みや違和感などないとのこと。 | / |
| | | 支台築造(レジンコア) 注⑧ | 147 |
| | | 歯質3壁残っているため、ポストは不使用とする。 | / |
| | | 失P Z | 166 |
| | | 連imp(寒天+アルジネート) | 62 |
| BT (バイトワックス) | 7 | 7 | 16 |
| | | | T e C |

《解説》

注① X線撮影を行った場合は、カルテに読影所見を記載する。

注② 前回処置後、カルテに症状の経過や所見を記載する。

注③ Pul、Perなどで標準型エックス線撮影後に緊急処置を行った後、日を異にしてパノラマ断層撮影をしたときは、同一部位の2枚目以降の撮影でも、パノラマ断層撮影の診断料は所定点数を算定し、アナログ317点・デジタル402点を算定できる。

レセプト摘要欄には、「緊急処置後、パノラマ異日撮影」などと記載する。

注④ 1回目に患者の主訴に関する管理を開始し、2回目以降に歯周病やその他の疾患を含めた1口腔単位の管理を行う場合は、歯周病検査の結果や管理計画の変更点を含む管理計画書を作成し、内容を説明し提供する。

提供した文書の写しはカルテに添付する。

注⑤ 同一歯に対して初回の根貼算定月から6か月を超えて根貼を行った場合は、「初回の算定年月」と「歯の状態」をレセプト摘要欄に記載する。

特に、「歯の状態」ではなく「6か月を超えて根貼を行う理由」を記載しているケースが見られるがこれは誤りである。下記のように、レセプト摘要欄に「5圧痛(やや+)」など歯の状態を記載する。

○レセプトの摘要欄の記載例

| | | | | | |
|------------------------|----|-----|----|----|---|
| 初回根貼：2014年9月 5 圧痛(やや+) | | 公費分 | 算定 | 合計 | 点 |
| 点 | 算定 | 点 | 点 | 点 | 点 |
| 患者負担額(公費) | 点 | 点 | 点 | 点 | 点 |
| 治療費 | 点 | 点 | 点 | 点 | 点 |

注⑥ 管理計画書を提供していない歯管の算定月は、カルテに管理内容の要点を記載する。

注⑦ ラバーダムは初・再診料に包括されており、算定できる点数はない。しかし、点数がなくとも、行った治療行為はカルテに記載する。

注⑧ 2014年4月の診療報酬改定で、根管治療を実施した部位の歯冠部の近遠心と唇頬舌側歯質のうち、3面以上が残っていて複合レジン(築造用)のみで築造できる場合は、スクリューポストなしでも支台築造(その他)を算定できるようになった。

本事例では、歯質3面が残っており、ポストなしでもコアが維持できると判断し、スクリューポストを使用せずに支台築造(その他)の点数を算定した。

* 実態に即してご請求下さい *